

津房地区の皆様へ

まちづくり協議会の事務局は月・火・木の週三日開いています。ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第26号 平成30年3月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

春の交通安全週間

ことしの全国一斉・春の交通安全運動は4月6日(金)～15日(日)の期間となります。

例年どおり、期間中はまちづくり協議会のあんしん生活部会員のほか、各集落から選出された交通安全協会・津房分会の役員各位や女性ドライバー安全会のメンバーにも加わっていただき、合同での交通ルールの遵守の呼び掛けと津小児童の登校見守りを行います。

ことしは津房小に8名の新入生とのたいへん明るいニュースもあり、新入児童たちが通学に慣れるまでのサポートには特に配慮したいものです。

役員各位には、通勤時間帯に六郎丸交差点での街頭呼び掛けへの出役お願いと、ご出役日を記したハガキを後日お送りしますので、奮ってご参加頂くようお願いいたします。ピカピカの一年生8人が並んで登校するシンをみんなで楽しみましょう。

高齢運転者の増加や国道の交通量増加による交通事故の多発が心配される状況にも拘わらず、活動への参加率が年々低下し、運動の停滞が見られることから当記事でも重ねてお願いいたします。



六郎丸交差点で街頭呼びかけ



津房探訪ツアーの予告です！

地区内のスポットを巡る探訪ツアーを毎年開催していますが、今号ではツアーの概要についてのみお知らせし、詳細な探訪先とコースについては開催直前にお届けする次号でお知らせすることにします。

☆ **われらが津房に在りながら、ふだん訪ねる機会が少ないスポットを組み合わせたツアーを計画中です** ☆

今回の予告を各位の予定表に記入いただき、大勢の方のご参加下をお待ちしています。

開催日時：4月29日(日) 9:00～14:00

集合場所：津房地区公民館

探訪先：津房の西部集落の活性化に貢献している事業所巡りで、合計徒歩距離 約6km

他団体への研修に出かけました 女性部会主催



さる3月6日(火)、女性部会員と婦人ボランティアグループ、ふるさと振興部会役員の有志、会長と事務局員二人、引率役の市・観光まちづくり課の行政職二人から成る総勢20名で他団体への日帰り研修に出かけました。

研修先は佐伯市の中心部から蒲江に抜ける県道37号線の間位置にあたる青山地区の「青山女性百人会」で、津房地区同様に過疎化と高齢化が進行して地区の活力低下が著しいなか、(熟年)女性グループが中心になって「青山ピンコロの会」(いつまでもピンピン元気に、コロコロ笑おうとの意)を立ち上げ、7集落からなる地区の高齢者や子育て世帯の健康づくり、地元産農産物や手作り餅の物販・宅配・見守り・子育て支援などの幅広い活動を行う拠点として、空き家を活用した「青山ピンコロ軒」を運営、活発なまちづくり活動を行っています。

(ちなみに同地区の青山小学校は佐伯市の最小規模校で、全校児童数7人とのこと、宇佐市の最小規模校である津小より少ないです)

熟年のお母さん方そろって“自分の生きがいを兼ねて取り組んでいます”との心意気や、幅広い活動内容についてのご説明を拝聴、参加者全員が“津房も頑張るで!”との元気と勇気を頂いた研修会となりました。



↑ お母さん方の心意気と活動概要についてご説明

右上 スライドで活動事例のご説明

全員集合写真 →



「七つ道具入れ」贈呈事業

メガネ、テレビのリモコン、車の鍵、携帯電話、運転免許証などの身の周り品の置き場所を忘れ、アチコチと探し廻ることは誰でも良く経験することで、特に高齢になるとその頻度は上がります。

そこで、ご高齢者の生活の便宜を図る事業として、日常生活で良く使う身の回り品を一括して収納しておくための木製の手提げボックス(「七つ道具入れ」とネーミング)を当協議会の木工工房「あんぎ工房」で製作し、贈呈してきました。

これまで、独居の高齢者を最優先として贈呈したのち、対象者の条件を拡大しながら合計240個ほど贈呈した結果、70歳以上の高齢者のみ世帯への贈呈をほぼ完了しました。

(贈呈済みの多くの方から「探し廻る回数が減って重宝しちよるで」との高評価を頂いています)

そして現在は 対象者を65歳上の高齢者がいる全世帯(若い同居者の有無に関係なく)に拡げて贈呈しようと、最終ロット分を製作中です。

対象世帯についての情報は各集落の区長さんへ別途お問い合わせ確定しますが、もし5月末になっても贈呈品が届かない場合は、何らかの手違いの可能性があるので、当協議会の事務局へお問い合わせ願います。



リサイクル資源回収活動へのご協力を！

当協議会は旧津房農協の加工場(津房公民館横)を借用してリサイクル資源回収活動を行っています。24時間いつでもご利用可能ですから、アルミ缶、古紙、一升瓶などをお持ち寄りください。(収益金の半額を津房小へ贈呈しています)

